

## 京都市における妊婦の喫煙・飲酒の状況について

マツムラ タカヨ タニグチ チホ ハマガシラ ナオコ  
松村 貴代\* 谷口 千穂<sup>2</sup>\* 濱頭 直子\*

**目的** 4か月児健康診査受診者の母親を対象に、妊娠中の喫煙・飲酒の現状と、妊娠中の喫煙に関連する要因について検討した。

**方法** 平成19年2月中の京都市保健所・支所における4か月児健康診査受診予定者の母親を対象に、喫煙と飲酒の状況についての無記名自記式質問票を送付し、自宅で回答してもらい健診当日に回収した。妊娠中の喫煙に関連する要因については、カイ二乗検定、多重ロジスティック回帰分析を用いて検討した。

**結果** 質問票の送付数は999枚、回収率は72.3%（回収数722枚）、有効回答率は69.0%（有効回答数689枚）であった。妊娠前、妊娠中、産後4か月の飲酒率は、それぞれ55.9%、9.1%、22.1%であった。産後4か月時点で、授乳をしている者586人での飲酒率は、19.5%であった。また妊娠前、妊娠中、産後4か月の喫煙率は、それぞれ23.4%、7.5%、9.0%であった。妊娠前後の喫煙の経過では、妊娠前の喫煙者（161人）のうち妊娠を機に禁煙したのは67.7%であった。夫の喫煙率は43.1%であった。また「受動喫煙について知っている」と回答した者は75.5%であった。「妊娠中の喫煙あり」を目的変数とした多重ロジスティック回帰分析では、年齢が24歳以下、妊娠中の飲酒あり、夫の喫煙ありは、有意に妊娠中の喫煙と関連していた。オッズ比と95%信頼区間は各々、2.89（1.40-6.00）、4.17（2.04-8.54）、3.89（2.04-7.45）であった。

**結論** 妊娠中の喫煙、飲酒は公衆衛生上重大な課題である。喫煙率はとくに若年層で高く、妊娠中に喫煙を継続する者も少なくはない。また約半数が家庭内での受動喫煙を受けていた。飲酒率は40歳以上で高かった。妊娠前から喫煙・飲酒が胎児に与える影響について正しい情報を提供し、妊婦の年齢にも配慮した禁煙・禁酒の支援、出産後の再喫煙防止指導を行っていく必要がある。

**Key words** : 妊婦, 喫煙, 受動喫煙, 飲酒, 胎児

\* 京都市下京保健所

<sup>2</sup>\* 京都市南保健所

連絡先：〒600-8216 京都府京都市下京区西洞院塩  
小路上る東塩小路町608-8  
京都市下京保健所 松村貴代